瀧本議員（民主県政会）

平成 26 年 12 月 10 日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）県総合グランドのあり方について

県教育委員会では今年，新たなスポーツ推進計画を策定した。この計画では，県民の皆さんがスポーツを身近に楽しめる環境を整えることで，本県スポーツの活性化やスポーツ人口の裾野を広げることを目指している。

スポーツを身近に楽しむための環境づくりとして，スポーツ施設の整備は重要であり，中でも県総合グランドは，新たな計画でも，「多様な競技に対応した施設がコンパクトにまとまっており，アマチュア選手の競技力向上拠点として重要な役割を担っている」と示されている。

また，広島市内の中心部に近いため，宿泊場所の確保や観客動員等において優位性が高く，全国規模の大会を誘致する絶好の立地条件であるとともに，先ほど質問した東京オリンピックの事前合宿の誘致にも活用できる貴重な施設である。

しかし，野球場をはじめ，総合グランドの施設は老朽化が非常に進んでおり，その対策の必要性等について，これまで度々質問したが，新たな計画では，総合グランドについて，「施設の担うべき機能など施設全体のあり方を，関係機関と連携しながら検討して」いくこととされている。

そこで，現在，県総合グランドのあり方について，どのような体制で，どのような検討を行っているのか，教育長に伺う。

（答）

総合グランドにつきましては，

- 陸上競技場のスタンドが建設から５０年近く経過するなど施設全体が老朽化していること，
- 広島広域公園など大規模スポーツ施設が整備され，建設当初有していた県内における大規模大会の中心的な会場としての役割が変化していることから，

本年度策定しました広島県スポーツ推進計画におきまして，施設全体のあり方を検討することとしたところでございます。

現在，この計画に従って，総合グランドが今後果たすべき役割などを明ら

かにするため，教育委員会におきまして，他県のスポーツ施設の整備状況や総合グランド各施設の利用実態などの調査を進めているところでございます。